

検討テーマ①

絆を深めて支え合う防災体制づくり

中原区は武蔵小杉駅周辺の再開発などにより、まちの姿が大きく変わり、新しく住み始める方も多くいます。防災については東日本大震災の経験が風化しないうちに取り組むべきであり、従来からの住民と新しく来られた住民が交流することで自主防災も機能するのではという意見から、第4期1つ目のテーマとして、「絆を深めて支え合う防災体制づくり」の審議を行うこととしました。

1 現状及び課題の把握

現状の取組

■「備える。かわさき」などの配布

中原区では、防災災害に対する日頃の備えなどを掲載した『備える。かわさき』を配布しています。外出時の防災必携マニュアルとしてポータブル版も配布しています。



■自主防災組織の支援

自主防災組織とは、地域に住む皆さんが協力し合い、その地域の安全を守るため組織されたものです。災害時に効果的な活動ができるよう、訓練、備蓄等を行っています。

また、訓練等活動に対して助成金制度などにより支援を行っています。

主な課題

- ・さまざまな世代に向けた防災情報の発信が必要。
- ・外国人市民の方に配慮した情報提供の検討が必要。
- ・地域内のリーダーをどのように発掘するか、防災に興味を持つ方と地域をどのように繋げるかの検討が必要。
- ・管理組合（自主防災組織）単位での備え・安否確認・被災後の支援体制づくり。
- ・マンション同士の助け合い体制づくり。

2 課題についての審議内容

防災イベントの開催について

- ・災害時に地域での活動を担える人材を発掘するため、イベントを開催するのはどうか。
- ・内容は、災害図上訓練（DIG）や講座などが効果的では。
- ・平成25年8月31日に中原区が会場となる川崎市の総合防災訓練があるため、プレイベントのような位置づけで、その前に実施したらよいのでは。
- ・区民会議委員がそれぞれ所属している団体等のメンバーを出し合い、その人たちが交流を深めることが必要ではないか。



部会では少人数で時間をかけ議論しました

防災情報の発信について

- ・防災情報を集約するという取組案があるのが良い。
- ・転入手続きを行う際に、防災関連のパンフレットを配布できればよい。
- ・外国籍の方にも専用の資料を配布したらどうか。



課題解決に向けた取組を議論

その他

- ・第3期で行った「なかはら防災紙しばい」にまた取り組んだらどうか。
- ・自主防災組織の先進的な活動を紹介することで区内全域の自主防災組織に広がれば良いのではないか。
- ・子育て講演会で防災についての講演を行いたい。
- ・100戸以上のマンションに対する自主防災の意向調査は是非やっていただきたい。